

2008年5月13日
大日本スクリーン製造株式会社

2008年3月期決算説明会 Q&A

Q. 2009年3月期半導体製造装置の収益予想について知りたい。

A. 売上額が減少したことなどから、収益面で厳しい状況を予想している。ただし、リードタイムの短縮、装置の納入・立ち上げ後に発生する後追いコストの削減をはじめとする製品のコストダウン活動などに取り組むことにより、下期にかけて収益性は改善していくと考えています。

Q. 半導体製造装置の市場環境について知りたい。

A. 前期後半から半導体メーカーによる設備投資抑制の動きが見られました。当社の半導体製造装置事業におきましてもその影響を避けられず、受注額は低調に推移しています。市場の回復は、半導体需給バランスの改善によるデバイス価格の上昇などにより、夏ごろからであろうと期待しています。

Q. FPD製造装置の利益予想について知りたい。

A. 当社が高い市場シェアを誇るコータ・デベロッパーの受注は急速に回復してきており、2009年3月期の売上は大幅な伸びを予想しています。ただし、利益に関しましては、販売価格の低下や競争激化により利益率の悪化が予想されます。さらなるコストダウンを実施し、収益性の改善に努めてまいります。

Q. 米国アプライド マテリアルズ社との共同出資会社 SOKUDO の状況は？

低調な半導体市況の影響を受け、ビジネス環境は厳しい状況ありますが、シェア拡大に向けて、新製品の研究開発を積極的に行ってまいります。

SCREEN